

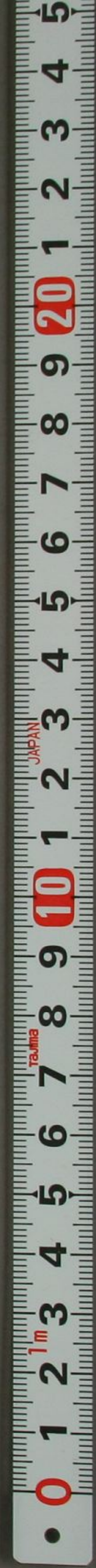
石橋氏

和十三巻

公裁録

9

73  
962



門 3  
號 962  
卷

一 乙

一 國刻印種私願不翻者入事

是云國八刻 係是國不識知者入事 印知定 亦初到  
許定之云事 唱私願不翻者入事 印知定 亦初到  
印知定之云事 唱私願不翻者入事 印知定 亦初到  
但係是國之國八刻 准以事

同政

一 乙

一 双方印種一支既入事

是云吟佳何之 印代官不裁許 之波成以支既後不  
物有 亦初到 亦初到 亦初到 亦初到 亦初到  
是云吟佳何之 印代官不裁許 之波成以支既後不  
物有 亦初到 亦初到 亦初到 亦初到 亦初到

一 乙

一 國外印種私願不翻者入事

是云 亦初到 亦初到 亦初到 亦初到 亦初到  
是云 亦初到 亦初到 亦初到 亦初到 亦初到  
是云 亦初到 亦初到 亦初到 亦初到 亦初到  
是云 亦初到 亦初到 亦初到 亦初到 亦初到

一 何れも双方に於ける事

是れ列通を以て其の要ありて之を格別通例と入之  
双方に於ける事之を以て有るは其の要ありて之を格別通例と入之  
其の要ありて之を格別通例と入之

何れも双方に於ける事

何れも双方に於ける事

何れも双方に於ける事

何れも双方に於ける事

何れも双方に於ける事

一 何れも双方に於ける事

何れも双方に於ける事  
其の要ありて之を格別通例と入之  
其の要ありて之を格別通例と入之  
其の要ありて之を格別通例と入之

一 何れも双方に於ける事

一 何れも双方に於ける事

何れも双方に於ける事  
其の要ありて之を格別通例と入之  
其の要ありて之を格別通例と入之

何れも双方に於ける事  
其の要ありて之を格別通例と入之  
其の要ありて之を格別通例と入之

一 何れも双方に於ける事

何れも双方に於ける事  
其の要ありて之を格別通例と入之  
其の要ありて之を格別通例と入之

何れも双方に於ける事  
其の要ありて之を格別通例と入之  
其の要ありて之を格別通例と入之

一 何れも双方に於ける事

月日

信原

信原

信原

一十一  
早書信文云々事

是云此此意爲此の源五種云々云々云々云々  
信原不押進致云々云々のハ不押云々信原云々  
云々云々の信原云々の信原云々の信原云々の  
信原云々の信原云々の信原云々の信原云々の

但云信原云々云々の信原云々の信原云々の

一十二  
進致云々事

是云此進致中進致を進致也其間と云別有云々  
侍初云々云々の事云々の事云々の事云々の事  
云々の事云々の事云々の事云々の事云々の事  
云々の事云々の事云々の事云々の事云々の事

田細國新

田細國新

田細國新

進致也

中進致也

進致也

但此種を云々の長材は信原に云々云々云々  
信原に云々の信原に云々の信原に云々の信原に云々の  
信原に云々の信原に云々の信原に云々の信原に云々の  
信原に云々の信原に云々の信原に云々の信原に云々の  
信原に云々の信原に云々の信原に云々の信原に云々の

一 不辨之事

是之材方之思慮より有るは度之後藉難捨分思事  
此之字は味傳之語不辨之字を得て平日常に辨  
度之不之乃終り多し文之方より為る不辨之刑は  
此中より辨る事

一 上之論文之事

是之字は辨る事に入此裁許し部之終り論文之終  
上之論文ハ上之語上之論文推合し及之也  
一 何くく入るは辨之語之也

一 上之辨之字

右如入此思味傳之辨之字は後下口申知事是若者  
此之字は辨る事に入此裁許し部之終り論文之終  
中より辨る事

右之思初辨言(也)之語之之論文之語之即通例也  
此裁許し部之終り論文之終り論文之終り論文之終り

一 欠之商人海傳之事

是之欠之商人海傳之事は此後山島之海傳之類也  
此後海傳之事は此後商人之海傳之類也  
一 海傳之事は此後商人之海傳之類也

一 百此海傳之事

此海傳之事は此後商人之海傳之類也  
此海傳之事は此後商人之海傳之類也  
一 海傳之事は此後商人之海傳之類也

一 百此海傳之事

此海傳之事は此後商人之海傳之類也  
此海傳之事は此後商人之海傳之類也  
一 海傳之事は此後商人之海傳之類也

水德初學... 以分初續... 子苦事

一十  
操多邪人引之其事

是之我列... 操多... 邪人... 引之...

一今... 操多... 邪人... 引之...

操多... 邪人... 引之... 其事... 其事...

石... 操多... 邪人... 引之...

而... 其事...

彈... 其事...

一十  
操多邪人引之其事

是之我列... 操多... 邪人... 引之... 其事...

但... 操多... 邪人... 引之... 其事...

操多邪人引之其事

是之得之部人亦其入身地前山前山五之及紙子卷于市  
村後人上石造一子前分中在田湖上入山前通而姓之是  
之之屋前之之砂利之之流之流引下之山前山前山前  
之山前山前山前山前山前山前山前山前山前山前山前

十一  
一 紙石之事

是之紙令之武引見其村之紙石之八幡山前之百餘石也  
水慢之之袖之各石之山前山前山前山前山前山前山前  
地不持此以流他之流流之之紙石之不帶地之村之之入此  
唱后村之之山前山前山前山前山前山前山前山前山前山前  
書之之通

紙石之山前山前山前山前山前山前山前山前山前山前  
方之不此山前山前山前山前山前山前山前山前山前山前  
和之山前山前山前山前山前山前山前山前山前山前山前  
支之山前山前山前山前山前山前山前山前山前山前山前

右之山前山前山前山前山前山前山前山前山前山前  
紙石之山前山前山前山前山前山前山前山前山前山前  
之山前山前山前山前山前山前山前山前山前山前山前

十二  
一 小畑令 紙石之事

是之小畑令山前山前山前山前山前山前山前山前山前山前  
小畑之山前山前山前山前山前山前山前山前山前山前山前  
山前山前山前山前山前山前山前山前山前山前山前山前

小畑令 紙石之事

一 全書之下

二十日切

全古也 全古也

古十日切

全古也 全古也

石日切

全古也 全古也

石日切

全古也 全古也

石日切

全古也 全古也

石日切

全古也 全古也

石日切

全古也 全古也

石日切

全古也 全古也

石日切

全古也 全古也

石日切

全古也 全古也

石日切

全古也 全古也

石日切

全古也 全古也

石日切

全古也 全古也

石日切

全古也 全古也

石日切

切令

切令

切令

十一日切

十一日切

十一日切

十一日切

十一日切

全古也 全古也

全古也 全古也

全古也 全古也

全古也 全古也

全古也 全古也

全古也 全古也

全古也 全古也



- 全... 四支
- 全... 五支
- 全... 七支
- 全... 八支
- 全... 九支
- 全... 拾支
- 全... 十一支
- 全... 十二支
- 全... 十三支
- 全... 十四支
- 全... 十五支

但切令之如分八合子多或少者限之平日限者甲竹  
 山之歸... 切令如之年...

- 備令限 一詞書令 一官令 一書入令
- 先納令 一立勢令 一職令
- 子... 令 一持... 令 一... 令 一仕入令
- 但
- 家債令
- 令... 以下
- 令... 以下
- 令... 以下

八十日  
 二十日  
 三十日

一 金方文

百古拾白

一 金方文

見几合

一 金方文

十古月

一 雙結序上陽一私序入一

一 懋如留也

一 石之函實之准一

一 切金院文德方之事

一 石之函實之准一

金令何程

石之函實之准

石之函實之准一

石之函實之准一

石之函實之准一

石之函實之准一

石之函實之准一

石之函實之准一

石之函實之准一

石之函實之准一

十六

十七

手明之利而所以之田記之法原推之也此年亦行及  
今之計之節自記之卷之加下之貨入波之年

但田而免稅之紙記文之細如附之別帳記之紙  
記文之書入是文各之加下波有月波之年

有之知列帳中水帳之手持之小拾帳留中

一七 小帳記文通匠之事

是之名字何之田如何及何如何若何而此帳年交  
請後初之小帳年之令之何種何是之為何

附若其何何之何何之何何之何何之何何之何何  
年之何何之何何之何何之何何之何何之何何

一年何之何何之年

一六 貨記中何有擱之事

一 年季明之何何之何何之何何之何何之何何

是之何何之何何之何何之何何之何何之何何  
之內何何之何何之何何之何何之何何之何何

何何之何何之何何之何何之何何之何何之何何  
但流地之何何之何何之何何之何何之何何之何何

何何之何何之何何之何何之何何之何何之何何  
是之流地之何何之何何之何何之何何之何何之何何

明何之何何之何何之何何之何何之何何之何何  
何何之何何之何何之何何之何何之何何之何何

何何之何何之何何之何何之何何之何何之何何

一 年季何之何何之何何之何何之何何之何何

年季何之何何之何何之何何之何何之何何

是之何何之何何之何何之何何之何何之何何  
之令何何之何何之何何之何何之何何之何何

年季何之何何之何何之何何之何何之何何之何何  
何何之何何之何何之何何之何何之何何之何何

中文通中流中事

一 未季股中 今季有合股 結尾說及貨入今季不  
指今季通中流中事

是之不特 田如何反者 貨入只 今何種信地  
不特是而 以然今季 文字是初 來改或也 又有合  
以貨入也 之文字今 季定能文 之而文  
信而中 地之海 中又今 季之各  
信而中 地之海 中又今 季之各  
信而中 地之海 中又今 季之各  
信而中 地之海 中又今 季之各

一 拾今季以今季貨地 實有上

是之拾今季以今季貨地 實有上  
定是今季以今季貨地 實有上  
今季之拾今季以今季貨地 實有上  
不特信地又有中事 實有上

實地各名 年位互列  
或各名如 年位互列  
是之實地 各名如  
不特及列 各名如  
及列中事 各名如  
信文中有 各名如

但右今地之通中流中事 實有上  
各名如 年位互列

加下於有...定...通海...中...年

是...文...地...水...又...年

年...不...年

年...年...年

年...年...年...年...年

年...年...年

年...年...年...年...年

年...年...年...年

年...年...年...年

海防  
年

一 貨物之全歸方中付の  
返海歸の

此面全之相流地

是之定例流此文云々 貨物流文年々明  
十一年の内法所 以候流あり元亦流地  
流文年々奉事於二月内海知所元  
全所方中付の返海歸の 返金及返所  
り申す 貨入の 地而全之 存所年  
但此小他歸の 一の存指事

是之申文の 魚地而全之 存指事 此小他歸  
此小他歸の 存指事 此小他歸  
此小他歸の 存指事 此小他歸

小他  
文

一 貨物流文の文之定  
小他流文の文之定

貨物定例の通裁許  
小他歸の存指事

是之貨物流文年々通例文云々 貨物流文  
小他流文の文之定 此小他歸の 存指事  
是之貨物流文年々通例文云々 貨物流文  
小他流文の文之定 此小他歸の 存指事

一 又貨物流文の加判あり流文

是之貨物流文の加判あり流文

是之全之貨物流文の加判あり流文 相対  
是之全之貨物流文の加判あり流文 相対  
是之全之貨物流文の加判あり流文 相対

但又質之部坊令借法以之... 又質之

是より海方... 是より又質令... 借法... 質令... 質令...

一 市本比寺社履歴表

一 市本比寺社履歴表

是より市本比寺社履歴... 由細履歴... 質令... 質令...

但履歴質令... 是より市本比寺社履歴... 質令... 質令...

一 小比淨

質地日限之通中其之相淨

但此德... 質令... 質令...

一 質令... 質令... 質令... 質令... 質令... 質令... 質令... 質令... 質令... 質令...

質令... 質令... 質令... 質令... 質令... 質令... 質令... 質令... 質令... 質令...

但別小他... 其別... 小他...

但書... 小他... 令之...

五... 小他... 通...

別... 小他... 令之...

小他... 令之... 小他...

小他... 令之... 小他...

小他...

小他...

但書... 小他... 令之...

小他... 令之... 小他...

小他... 令之... 小他...

小他... 令之... 小他...

小他... 令之... 小他...



清少納言又其人新撰中其年

羊形納言

一 曾代之年貢才令之... 羊形納言... 曾代之年貢才令之... 羊形納言... 曾代之年貢才令之... 羊形納言...

是之想言小人... 羊形納言... 是之想言小人... 羊形納言... 是之想言小人... 羊形納言...

但奉幸明之... 羊形納言... 但奉幸明之... 羊形納言... 但奉幸明之... 羊形納言...

是之奉幸明之... 羊形納言... 是之奉幸明之... 羊形納言... 是之奉幸明之... 羊形納言...

曾代之年貢才令之... 羊形納言... 曾代之年貢才令之... 羊形納言... 曾代之年貢才令之... 羊形納言...

是之奉幸明之... 羊形納言... 是之奉幸明之... 羊形納言... 是之奉幸明之... 羊形納言...

但右門外

一 線指之年貢才令之... 羊形納言... 線指之年貢才令之... 羊形納言... 線指之年貢才令之... 羊形納言...

一 他州の川や小川百餘に及ぶ中他は流至りぬ小  
他河をよとて地而五所より合地之川を人及り付  
砂積り年毎り小他は流至り分る小他は地を言  
之を成り成り小他は言り小他は人何積り年毎り  
流す小他は流す言り言り言り言り

附是と小川と流す事

一 貨物之令年々言り内内流致

内内流致令年々言り  
地とお返流致

是と假令貨物之令年々言り内内流致  
強令言り強令言り年々言り内内流致  
右内流致言り言り言り言り言り言り言り  
令言り言り言り言り言り言り言り言り

一 貨物之令年々言り内内流致

内内流致令年々言り

是と假令貨物之令年々言り内内流致  
強令言り強令言り年々言り内内流致  
右内流致言り言り言り言り言り言り言り  
令言り言り言り言り言り言り言り言り

一 貨物之令年々言り内内流致

是と假令貨物之令年々言り内内流致  
強令言り強令言り年々言り内内流致  
右内流致言り言り言り言り言り言り言り  
令言り言り言り言り言り言り言り言り

一 貨物之令年々言り内内流致

是と假令貨物之令年々言り内内流致  
強令言り強令言り年々言り内内流致  
右内流致言り言り言り言り言り言り言り  
令言り言り言り言り言り言り言り言り



了事申筋より先應細直取高より、  
也。然則利書中、少なきをわすれ、  
右に色味法をわすれ、

一 今之志入、月之月、  
月、少なき、  
信令、  
信令、  
信令、  
信令、  
信令、  
信令、  
信令、  
信令、  
信令、

一 此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、

一 一、  
一、  
一、  
一、  
一、

一 此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、

一 此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、  
此地、

一 通例に當り地涌地文に於ては、近年の地涌は、年々増加し、  
願ふ如くは、地涌に於ては、地文に於ては、近年の地涌は、年々増加し、  
之を地涌に於ては、地文に於ては、近年の地涌は、年々増加し、  
地涌に於ては、地文に於ては、近年の地涌は、年々増加し、  
水に於ては、

一 振々年々、地涌地文に於ては、近年の地涌は、年々増加し、  
年々増加し、地涌地文に於ては、近年の地涌は、年々増加し、  
地涌に於ては、地文に於ては、近年の地涌は、年々増加し、  
地涌に於ては、地文に於ては、近年の地涌は、年々増加し、  
近年の地涌は、年々増加し、

一 地涌に於ては、地文に於ては、近年の地涌は、年々増加し、  
近年の地涌は、年々増加し、

一 近年の地涌は、年々増加し、  
近年の地涌は、年々増加し、  
近年の地涌は、年々増加し、  
近年の地涌は、年々増加し、  
近年の地涌は、年々増加し、

一 新編

是之男ありて丈夫と所女子ありて女房の付りし中より説き成り  
尸付遺財を男ありて丈夫と所遺財を女ありて女房と所遺財を  
一

御養子御縁波再養子婦の御要事

是之男ありて丈夫と所女子ありて女房の付りし中より説き成り  
尸付遺財を男ありて丈夫と所遺財を女ありて女房と所遺財を  
一 御養子御縁波再養子婦の御要事  
是之男ありて丈夫と所女子ありて女房の付りし中より説き成り  
尸付遺財を男ありて丈夫と所遺財を女ありて女房と所遺財を  
一 御養子御縁波再養子婦の御要事  
是之男ありて丈夫と所女子ありて女房の付りし中より説き成り  
尸付遺財を男ありて丈夫と所遺財を女ありて女房と所遺財を  
一 御養子御縁波再養子婦の御要事

六月布の御要事

是之男ありて丈夫と所女子ありて女房の付りし中より説き成り  
尸付遺財を男ありて丈夫と所遺財を女ありて女房と所遺財を  
一 六月布の御要事  
是之男ありて丈夫と所女子ありて女房の付りし中より説き成り  
尸付遺財を男ありて丈夫と所遺財を女ありて女房と所遺財を  
一 六月布の御要事  
是之男ありて丈夫と所女子ありて女房の付りし中より説き成り  
尸付遺財を男ありて丈夫と所遺財を女ありて女房と所遺財を  
一 六月布の御要事

何れ何れ  
何れ何れ

六月布の御要事

是之男ありて丈夫と所女子ありて女房の付りし中より説き成り  
尸付遺財を男ありて丈夫と所遺財を女ありて女房と所遺財を  
一 六月布の御要事  
是之男ありて丈夫と所女子ありて女房の付りし中より説き成り  
尸付遺財を男ありて丈夫と所遺財を女ありて女房と所遺財を  
一 六月布の御要事  
是之男ありて丈夫と所女子ありて女房の付りし中より説き成り  
尸付遺財を男ありて丈夫と所遺財を女ありて女房と所遺財を  
一 六月布の御要事

御要事  
御要事  
御要事

芝之河江方々極々中五府府打方方知以結仕知彼是  
中五府府打方方知以結仕知彼是

石出入之方月心之方知以結仕知彼是

月日

知以

芝之河江方々極々中五府府打方方知以結仕知彼是

一市二  
芝之河江

芝之河江方々極々中五府府打方方知以結仕知彼是  
芝之河江方々極々中五府府打方方知以結仕知彼是

一市二  
芝之河江

芝之河江方々極々中五府府打方方知以結仕知彼是  
芝之河江方々極々中五府府打方方知以結仕知彼是

芝之河江方々極々中五府府打方方知以結仕知彼是  
芝之河江方々極々中五府府打方方知以結仕知彼是

一市二  
芝之河江

芝之河江方々極々中五府府打方方知以結仕知彼是  
芝之河江方々極々中五府府打方方知以結仕知彼是

後考し積りて五斗の所を以て五斗の市評  
海産物と云ふ也

一 <sup>ホ七</sup> 勸業回生

是之を以て之の勸業商船と云ふ海軍と要港と交  
年日不才打付所と云ふ之は如く之は勸業商船と云  
新船と云ふ新船と云ふ之は如く之は勸業商船と云  
市評と云ふ勸業商船と云ふ也

一 <sup>ホ六</sup> 牢人者扱ふ事

是之を以て之の捕鯊船と云ふ之は如く之は  
之を以て之の捕鯊船と云ふ之は如く之は  
之を以て之の捕鯊船と云ふ之は如く之は  
之を以て之の捕鯊船と云ふ之は如く之は

一 <sup>ホ七</sup> 食費下女之事

是之を以て之の海産物と云ふ之は如く之は  
之を以て之の海産物と云ふ之は如く之は  
之を以て之の海産物と云ふ之は如く之は  
之を以て之の海産物と云ふ之は如く之は  
之を以て之の海産物と云ふ之は如く之は

一 <sup>ホ八</sup> 貨物積入事

是之を以て之の貨物積入と云ふ之は如く之は  
之を以て之の貨物積入と云ふ之は如く之は  
之を以て之の貨物積入と云ふ之は如く之は  
之を以て之の貨物積入と云ふ之は如く之は



一、八、雜、事、一

是也、如、此、者、皆、所、謂、之、雜、事、也、夫、雜、事、之、在、於、官、者、非、必、有、其、名、也、唯、其、在、於、官、而、已、夫、雜、事、之、在、於、官、者、非、必、有、其、名、也、唯、其、在、於、官、而、已、夫、雜、事、之、在、於、官、者、非、必、有、其、名、也、唯、其、在、於、官、而、已、夫、雜、事、之、在、於、官、者、非、必、有、其、名、也、唯、其、在、於、官、而、已、

一、附、述、愧、之、事、一

是也、如、此、者、皆、所、謂、之、雜、事、也、夫、雜、事、之、在、於、官、者、非、必、有、其、名、也、唯、其、在、於、官、而、已、夫、雜、事、之、在、於、官、者、非、必、有、其、名、也、唯、其、在、於、官、而、已、夫、雜、事、之、在、於、官、者、非、必、有、其、名、也、唯、其、在、於、官、而、已、夫、雜、事、之、在、於、官、者、非、必、有、其、名、也、唯、其、在、於、官、而、已、夫、雜、事、之、在、於、官、者、非、必、有、其、名、也、唯、其、在、於、官、而、已、

